

普及センター もいおか



第116号平成24年1月24日発行
盛岡農業改良普及センター
盛岡市内丸11-1 盛岡地区合同庁舎
TEL 019-629-6726 FAX 019-629-6739

新年のごあいさつ ～農業振興による沿岸支援・復興元年

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は、豪雪、大震災、春の低温、秋の長雨、そして放射能汚染に見舞われました。被災された皆さまには心からお見舞いを申し上げます。

本年は「沿岸復興元年」の年になります。内陸の活力が沿岸地域を支える力となりますので、盛岡地方の農業振興に総力を挙げて取り組んでいくことがひいては震災復興の一助となります。

被災地では少しずつながらも復旧復興が進んでいますが、放射性物質汚染被害対策についてはこれから長い取り組みになります。国は昨年12月22日に、食品に含まれる新たな放射性物質基準値案を発表し、今年の4月から原則適用するとしています。

これによると、年間の被曝限度数を現行の「年5ミリシーベルト」から1/5の「年1ミリシーベルト」に引き下げ、これに伴い、現在、1kg当たり500ベクレルの米・野菜・果樹・肉・魚などの農林水産物は「一般食品」として100ベクレルに、200ベクレルの牛乳については50ベクレルと非常に厳しいものとなっています。

今後は、農業者の不安を解消し、消費者に安全な農畜産物を供給していくため、農作物、農地等の放射性物質濃度の実態を把握して、適切な生産管理技術等に関する指導・助言を強化することとしています。

また、国においては、今年の4月から5年間で持続可能な力強い農業を実現することとして「食と農林漁業の再生のための基本方針・行動計画」を策定しました。

行動計画では、今後2年間で「人・農地プラン(地域農業マスタープラン)」を作成して地域で中心となる経営体を定める。そして、この経営体に農地を集積する協力者に「農地集積協力金」を交付して、20～30haの経営体を育成することとし、これらの経営体が5年後に農地面積の8割を占めるようにすることとしています。

青年の新規就農者については、当該プランに位置づけて、年間150万円を農業大学校等での研修期間2年間を含めて最長7年間給付するとして、毎年全国で2万人を育成定着することとしています。更に6次産業化を進めて5年後に3兆円規模(現在1兆円)に拡大することとしています。

普及センターとしましても、平成24年を「農業振興による沿岸支援・復興元年」として、放射性物質汚染対策、人・農地プランの作成支援、新規就農者の確保育成や6次産業化の推進を強化していく所存でありますので、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます、年頭のあいさつといたします。

土壤診断を活用して適正な肥培管理を！

岩手県では、土壤診断を活用した適正な圃場の肥培管理を進めています。

その一環として、農業者自らが施肥設計を行なえるよう、施肥設計アドバイザーの育成を進めていることもご存知かと思います。皆さんのなかには、既に土壤診断を実施し、診断処方をお願いしている方もおるかと思いますが、野菜畑、とくにハウス土壌での養分過剰や、養分のバランスが崩れているなどの指摘をうけている方はいませんか？その一方で、自分の施肥設計にどう活かすか迷っている方もおられるかと思います。

ここでは、食と健康管理としての農作物提供の視点から、養分過剰やアンバランスの問題点の一部を紹介し、適正な肥培管理の実践のため（県が勧めている「補給型施肥管理指針」を活用するため）の参考としていただければと思います。

◆ 「土の健康・農の健康・作物の健康・人の健康」

図に示したのは、土壤関係者の学会で「農－食－医」の連携を提唱した方の資料の一部です。なるほど、と思いませんか？

農と土：【土の健康、健全な農業、作物の健康】 診断・適正施肥・地力・光合成・安全



食と環境：【安全で健全な食生活、食育】 正しい食べ方・適量栄養摂取・運動・生きがい



医と健康：【健康管理、予防医学・予防医療】 心と体の健康・健康長寿・医療費削減

図 1-1 予防医療で健康長寿を実現するためには 農－食－医の連携が重要（愛知農総試、加藤俊博）

◆ 「土壌のリン酸過剰が、土壌病害を助長する」

これも、土壌微生物を研究するなかで最近明らかになってきたことですが、アブラナ科の根こぶ病やウリ科ホモブシス根腐れ病、ジャガイモのそうか病などを助長するそうです。

「土づくりとエコ農業」2011年10・11月号

◆ 「土壌の適正肥培管理は、人にも作物にも、環境にもやさしい」

先の図に示したとおり、健全な土壌から生産される作物は、人の健康にも結びつくことはお解かりだと思います。さらに、環境への配慮・農家経営にもやさしくなりますよ・・・。

